

今年のなつやすみは 「生きています！」

➡ そして今年も一緒に宿題を作りましょう

なつやすみの美術館4 **生きています!** 2014年7月12日(土) - 9月23日(火・祝)

「なつやすみの美術館」シリーズも4回目となる2014年。次のテーマは「生きています!」です。生きているとお腹もへるし、生きていると楽しくなったり悲しくなったり…。作品の中であらわされている様々なことから、「生きています」から感じられることばかり。子どもたちにあらためて感じてほしいことを、美術館で一緒に考えましょう。

前回の「美術の時間」展では、和歌山美術館教育研究会において小・中・高の校種別ワークシートを制作し、各校での宿題として活用していただきました。他校の先生や教員を目指す学生、当館職員と一緒に、今年も美術館での宿題作りをしてみませんか。まずはお気軽にお問い合わせください。当館発行の機関情報誌『NEWS』76号でも、前回の活動内容を詳しくご紹介しています。

<http://www.momaw.jp/news/>

著作権保護のため
画像を表示していません



前回のワークシートって?

実際の展示作品を事前にいくつか鑑賞し、また直前にはプロジェクターを使い、展示プランも含めて全展示作品を見ながら、取り上げる作品を選んで作成しました。小中高のグループに分かれて検討し、それぞれにあわせたワークシートとなりましたが、小学校低学年と高学年など、さらに細分化したワークシート作りも目指したいと考えています。アイデアやご意見など、お寄せください。前回のワークシートは、当館ホームページからダウンロードしていただけます。
<http://www.momaw.jp/education/school-group/2013summer-worksheets.php>

2014前半の流れ

4月	5月	6月	7月	8月	9月
【中旬～】 顔合わせ 展覧会概要の紹介 取り組み課題の検討	【2回開催予定】 作品見学会 生徒課題の検討	【2回開催予定】 ワークシート検討 作成			振り返り 検討会
*土曜日を基本的な活動日に設定しています					

なつやすみの美術館4 「生きています!」
7月12日～9月23日

最近の活動から・・・

11月16日 第23回研究会

参加者3名+教育普及課3名

《信貴山縁起絵巻》の題材研究

東中学校の山本先生が、《信貴山縁起絵巻》の題材研究をされています。当研究会では、その内容を深めるための意見交換を行いました。



歴史と美術の教科書や資料集も参考にし、科目の違いで着眼点にどのような差があるのかを確かめてゆきました。科目をまたいで同じ題材が登場するという事は、多方向から作品について目を向ける良い契機となり、科目の枠におさめてしまうのではなく、身の回りのあらゆるところに美術とかがわるものがあるのだと気づかせることにつながるのではないのでしょうか。山本先生は実際に歴史の教科書を開いてみて、ご実感された様子でした。また限られた時間内で、どのようにすれば幅広い活動を行いつつ、生徒たちに絵巻物の面白さを知ってもらえるか、具体的なレプリカ作成の方法など、さまざまなアイデアが出ました。

1月18日 第24回研究会

参加者8名+教育普及課2名

■三原色の点描による課題

粉河高校の南先生が、三原色と混色についての理解が定着していないという問題意識から、三原色を用いた点描の表現に取り組まれています。簡単な形態のモチーフを点描で描く課題ですが、紙の面積に対しての作業量と制限時間のバランスや、水彩絵具を用いた点描表現の難しさなど、どのようにして克服してゆけるかを、話し合いました。具体的な作品では、手作業で三色分解を行い、手描きの版を重ねて色を表現した泉茂らの版画作品や、フォトリアリズムの代表的な作家であったチャック・クロスの諸作などを参考作品として紹介しました。



■川口軌外の《少女と貝殻》の鑑賞

海南市立第三中学校の辻先生による鑑賞授業（中学3年生）の取り組みをご紹介いただきました。1時間を使って川口軌外の《少女と貝殻》の鑑賞に取り組まれたとのことでしたが、作品に描かれたものを読み取ることは活発に行えたけれども、そこから軌外が学んだフォービズムやキュビズムの説明など、とても時間が足りなかったそうです。特定の作品の鑑賞だけでなく、広く美術史を教えることと、その難しさについて意見が広がりましたが、この研究会でも絞り込んだテーマについてまずは勉強する時間をとるのも良いかと考えています。

普段の研究会では、先生方の授業課題を持ち寄り、検討し合う時間も設けています。ここでは最近取り上げた課題について、ご紹介します。

2014年度展覧会 SCHEDULE

4	■～5月25日(日) コレクション展2014-春 特集 モノクロームの世界
5	■4月22日(火)～7月6日(日) 建島覚造と戦後の彫刻 かたちをさぐる
6	■6月3日(火)～9月4日(木) コレクション展2014-夏 特集 没後120年：大亦観風
7	■7月12日(土)～9月23日(火・祝) なつやすみの美術館4 生きている！
8	
9	■9月13日(土)～12月7日(日) コレクション展2014-秋 特集 没後50年：野長瀬晩花
10	■第68回和歌山県美術展覧会(県展) I期：10月15日(水)～10月19日(日) II期：10月22日(水)～10月26日(日)
11	■11月1日(土)～12月7日(日) 和歌山から始まる旅 観光する美術
12	
1	■12月16日(火)～2月22日(日) コレクション展2014/15-冬 特集 コレクション/ドネーション
2	2015 ■1月17日(土)～3月1日(日) つくはえ『月映』展 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎 — 木版にいのちを刻んだ青春
3	■3月14日(土)～ 和歌山と関西の美術家たち リアルなリアルなリアルの
4	■3月17日(火)～ コレクション展2015-春 特集『版画』の明治 —印刷と美術のはざま

奥村
うちの課長



出前授業
してきました！

当館の奥村泰彦教育普及課長が、中野上小学校6年生の国語の授業に、エキスパート職員の派遣事業で伺いました。この小学校では、各自作品を1点を選び、それについて調べ、4年生に対して作品解説を行うという授業が、図工と国語のドッキング課題として行われていました。言語活動の充実を目指した課題として、大変意義のある活動内容です。詳しくは、当館 NEWS77号にて！

和歌山美術館教育研究会

は、美術館を活用した教育を実践するための集まりです。近代美術館を拠点に、先生方は学校や科目の枠を越えて交流し、教員を目指す学生にとっては先輩の先生方から現場を学べる貴重な場ともなります。美術館で何ができるか、一緒に考えてみませんか。ご参加をお待ちし

ています。
*ご案内や内容は、主にメーリングリストを通してお伝えします。どうぞご参加ください。(登録には認証が必要ですので、メールか電話で当館教育普及課にご連絡いただくか、以下のページから直接申請ください)
【登録申請ページ <http://goo.gl/U5zEj>】